

令和 6 年 5 月 吉日

各位

野木沢地区まちづくり委員会
委員長 近内光慶

令和 5 年度野木沢地区まちづくり委員会の取り組みについて

持続的な地域づくりのため平成 21 年石川町第 5 次総合計画によって設立された「まちづくり委員会」の取り組みについて地域の皆様と情報を共有し、多くのご意見を賜り今後の活動に活かしてまいりたいと思います。

つきましては、下記方法にてご意見を賜りたいと思いますので、野木沢地区の活性化のためにも、皆様が日頃感じていること何でも良いので、ご協力のほどよろしく願いいたします。
(意見はパブリックコメント方式で行いたいと思います)

1. 用紙の場合 : 野木沢自治センターへ郵送か持参でお願いします。(FAX でも可)
2. メールの場合 : nogisawa_center2@cap.ocn.ne.jp
3. ホームページから : nogisawajiti.com/contact.html (お問い合わせ) タブ
4. お問い合わせ先 : 野木沢自治センター
〒963-7837 石川町中野字水無 59
電話 : 0247-26-4939 FAX:0247-26-3135
Email : nogisawa_center2@cap.ocn.ne.jp

※ 令和 5 年度版を各戸へ配布致しますがホームページからも閲覧できます
URL : [file107.pdf \(nogisawajiti.com\)](http://file107.pdf(nogisawajiti.com)) QR コードはこちら



令和5年度事業計画

部会	事業名	事業内容	事業詳細	
総務・地域づくり部会	センター事業	のぎさわこども広場		
		手作り教室インのぎさわ		
		地区公民館活動育成事業		
		高齢者生涯事業の推進		
		野木沢地区文化祭		
		のぎさわ地区芸能祭		
		野木沢地区まちづくり委員会との連携		
		野木沢自治センター（企画推進委員）		
		センターだよりの発行		
		オータムフェア参加		
		地域各種団体への支援		
		野木沢地区自治協議会		
		地区敬老会		
		自治センター利用団体・サークル等の育成強化		
		自治センター施設環境整備		
	まちづくり事業（第6次総合計画2019年～2028年）	歴史を活かした事業（史跡整備）	藤田城址整備事業	
			小和清水周辺整備事業	
		自然を活かした事業（地域農業支援）	鉱石水周辺整備事業	
			禿山遊歩道整備事業	
			イチジク生産事業	
			ときめき交流祭事業	
		伝統を後世に伝え地域住民の交流を図る事業	野木沢駅活性化事業（イルミネーション）	
			特産品開発事業（地場産品利用）	
			簡易直売所事業	
		各部会統括事業（総務）	全体会（理事会）、総会の開催	
			各部会年2回以上会議（上・下半期）	
		新規事業（総務）	人材バンク登録事業	
U50まちづくり集会事業	夏フェス			
情報発信事業（ホームページ開設）				
安全・安心部会	交通安全協会、母の会			
	防犯協会			
	消防団			
福祉部会	長寿会			
	民生委員			
教育学習部会	公民館			
	育成会			
	子育て支援	P T A	3年生送る会	
		野小っ子クラブ		

令和5年度 まちづくり委員会事業収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	予算額 (円)	収入額 (円)	増減	内 訳
事業収入	0	20,000	△ 20,000	
地域自治活動交付金	1,280,000	1,280,000	0	
繰越金	380,198	380,198	0	前年度繰越金
雑収入	0	269,682		イチジク売上金269,682
合計	1,660,198	1,949,880	△ 289,682	

【支出】

(単位：円)

事業名	区分	予算額 (円)	決算額 (円)	増減	内 訳
会議費	計	103,198	93,143	10,055	
	全体会 (理事会、総会)	23,198	0	23,198	
	各部会費	5,000	21,442	△ 16,442	看板修正代金 部会開催通知
	U50まちづくり集会事業	70,000	71,701	△ 1,701	U-50まちづくり委員会イベント協力費
	人材バンク登録	5,000	0	5,000	
イチジク生産事業費	計	350,000	187,711	162,289	
	イチジク管理費	300,000	137,711	162,289	イチジク消毒剤、草刈り作業代、燃料代、追肥及びカミキリムシキンチョール作業代
	作業員手当 (販売支援含)	0	0	0	
区交流事業	計	150,000	39,545	110,455	
	のぎさわときめき交流祭事業費	150,000	39,545	110,455	地区文化祭ガス代、まる餅、おこわ、豚汁材料代
野部会事業	計	100,000	268,825	△ 168,825	
	藤田城址整備事業	30,000	160,600	△ 130,600	藤田城整備事業代及び擬木代
木部会事業	計	200,000	328,508	△ 128,508	
	小和清水周辺整備事業	120,000	248,508	△ 128,508	和泉式部物語冊子 (1000部作製) 黒マルチ肥料 周辺整備
沢部会事業	計	110,000	104,140	5,860	
	鉢石水周辺整備事業	68,000	57,140	10,860	草刈 (機械代燃料代) 剪定代 水質検査料 消毒代
情報発信	計	100,000	74,540	25,460	
	インターネット整備費	100,000	74,540	25,460	インターネットプロバイダー料 (ジャストシステム)
製品部会	計	300,000	552,510	△ 252,510	
	加工所賃借料	150,000	200,000	△ 50,000	ふじわちゃん、コモド店舗賃料
	加工所光熱水道費	0	0	0	
育て支援	計	247,000	247,672	△ 672	
	野小っ子クラブ	172,000	168,672	3,328	ボランティア保険代、夏休み体験学習講師旅費、野小っ子クラブ謝金、書道指導料
	育成会 3年生送る会	75,000	79,000	△ 4,000	3年生送る会 (図書カード)、育成会クリスマス会
予備費		0	0	0	
合計		1,660,198	1,896,594	△ 236,396	

収入金額1,949,880円 - 支出金額 1,896,594円 = 差引残額53,286円

差引残額53,286円 は、次年度へ繰り越し致します。

担 当 部 会		総務・地域づくり部会		
事 業 名		各部会統括事業（総務） 【全体会（理事会）、総会の開催】		
計 画 （ P L A N ）	事 業 目 標	子どもの声が響く地域、健康で生きがいを感じる地域、働き甲斐と潤いを感じる地域、共に支え合い希望と絆を感じる地域、立地条件（地域特性）を活かした地域・未来づくり		事業予算 （予備費 含む）
	事 業 目 的	自治協議会の運営管理を行う		23,198
決 算 額			0	
実 施 （ D O ）	事 業 内 容 （ 実 績 ）	全体会（理事会）、総会の開催 ・年1回の総会開催 ・年2回（上半期、下半期）の全体会の開催		
評 価 （ C H E C K ）	貢 献 度 （住 民 ニーズ）	各部会の実績集約を行い住民にフィードバックする		
	効 率 性 （コスト）	会議資料の削減		
改 善 （ A C T ）	改 善	課 題	各部会の活動内容の情報共有の在り方	
		方 策	定例会などの情報を把握し回覧等（ホームページ）で周知する	
	数 値 目 標 （ K P I ）	会議の100%実施		
次 年 度 計 画	事 業 内 容	全体会（理事会）、総会の開催		
	事 業 費	5,000円		

担 当 部 会		総務・地域づくり部会		
事 業 名		各部会統括事業（総務） 【各部会年2回以上会議（上・下半期）】		
計 画 （ P L A N ）	事 業 目 標	子どもの声が響く地域、健康で生きがいを感じる地域、働き甲斐と潤いを感じる地域、共に支え合い希望と絆を感じる地域、立地条件（地域特性）を活かした地域・未来づくり	事業予算	決算額
	事 業 目 的	部会内で情報を共有する	5,000	21,442
実 施 （ D O ）	事 業 内 容 （ 実 績 ）	各部会年2回以上会議（上・下半期） ・年2回以上（上半期、下半期）の部会の開催 各部会連絡用ハガキ		
評 価 （ C H E C K ）	貢 献 度 （住 民 ニーズ）	部会内で事業の進捗及び情報を共有することにより優先事業の見える化		
	効 率 性 （ コ ス ト ）	会議資料の削減		
改 善 （ A C T ）	改 善	課 題	各部会の活動に温度差がある	
		方 策	モチベーション向上の向けて意識改革を行う	
	数 値 目 標 （ K P I ）	会議の100%実施		
次 年 度 計 画	事 業 内 容	各部会年2回以上会議（上・下半期）		
	事 業 費	18,286円		

担 当 部 会		総務・地域づくり部会		
事 業 名		新規事業（総務） 【人材バンク登録事業】		
計 画 （ P L A N ）	事 業 目 標	子どもの声が響く地域、健康で生きがいを感じる地域、働き甲斐と潤いを感じる地域、共に支え合い希望と絆を感じる地域、立地条件（地域特性）を活かした地域・未来づくり	事業予算	決算額
	事 業 目 的	自治協議会の共助事業を行うため住民のご協力を得てデータベース化を図る	5,000	0
実 施 （ D O ）	事 業 内 容 （ 実 績 ）	人材バンク登録事業 ・各戸に申込書を配布する （660戸へ配布）		
評 価 （ C H E C K ）	貢 献 度 （住 民 ニーズ）	住民情報のデータベースを利用し、ボランティア活動に寄与する		
	効 率 性 （ コ ス ト ）	人材バンク登録募集の効率化を図る		
改 善 （ A C T ）	改 善	課 題	周知不足により当初予定人数より少なかった。 データベースの維持管理	
		方 策	各種団体等において登録者数を増やす 四半期ごとに更新をする。	
	数 値 目 標 （ K P I ）	登録者数27名（コロナ禍の影響で新規登録がない）		
次 年 度 計 画	事 業 内 容	人材バンク登録事業		
	事 業 費	5,000円		

担 当 部 会		総務・地域づくり部会		
事 業 名		新規事業（総務） 【U50まちづくり集会事業】		
計 画 (P L A N)	事 業 目 標	子どもの声が響く地域、健康で生きがいを感じる地域、働き甲斐と潤いを感じる地域、共に支え合い希望と絆を感じる地域、立地条件（地域特性）を活かした地域・未来づくり	事業予算	決算額
	事 業 目 的	若い人たちが暮らしや仕事、就学、行政区の活動、ご近所同士の助け合いなど考え、若者が創るまちづくりを目的	70,000	71,701
実 施 (D O)	事 業 内 容 (実 績)	U50まちづくり集会事業 ・子ども育成会コラボ事業（夏フェス） 7/30		
評 価 (C H E C K)	貢 献 度 （住 民 ニーズ）	野木沢フェスの開催は、地方創生や子育て等の観点から若者の思いを伝えることが出来た。		
	効 率 性 (コ ス ト)	年4回のワークショップは少ないようでも考えをまとめる期間があり適当であった		
改 善 (A C T)	改 善	課 題	野木沢フェスについては金銭面的な問題・協力者の問題など更なる協議が必要と考える。 もったいない事業・こども新聞発行业の周知の仕方	
		方 策	次年度以降の開催についてはU50で行なう方向で検討を進めていく。 W e b 掲載も含め検討する。	
	数 値 目 標 (K P I)	出席率100%（延べ46名 11.5名/回）		
次 年 度 計 画	事 業 内 容	もったいない事業5,000円、こども新聞発行业5,000円、野木沢フェスイベント事業90,000円		
	事 業 費	100,000円		

担 当 部 会		総務・地域づくり部会		
事 業 名		新規事業（総務） 【情報発信事業（ホームページ開設）】		
計 画 （ P L A N ）	事 業 目 標	子どもの声が響く地域、健康で生きがいを感じる地域、働き甲斐と潤いを感じる地域、共に支え合い希望と絆を感じる地域、立地条件（地域特性）を活かした地域・未来づくり	事業予算	決算額
	事 業 目 的	自治協議会の活動内容を広く住民に伝え、情報提供を推進する	100,000	74,540
実 施 （ D O ）	事 業 内 容 （ 実 績 ）	情報発信事業（ホームページ更新） ・ホームページ開設（令和2年7月1日開設） ・会報の発行（2回発行）		
評 価 （ C H E C K ）	貢 献 度 （住 民 ニーズ）	広報活動に力をいれる 多くの地区民（幅広い世代）に情報を伝達する手段として有効である		
	効 率 性 （コスト）	紙媒体と一緒に使用することにより多くの人に情報が行き渡る		
改 善 （ A C T ）	改 善	課 題	デジタルデバインド（特に高齢者）の方に伝える方法	
		方 策	自治センターでの勉強会の実施	
	数 値 目 標 （ K P I ）	週1回のホームページ更新 50%		
次 年 度 計 画	事 業 内 容	情報発信事業（ホームページ運営） レンタルサーバー代含む		
	事 業 費	70,000円		

担 当 部 会		総務・地域づくり部会		
事 業 名		まちづくり事業（第6次総合計画2019年～2028年） 歴史を活かした事業 【藤田城址整備事業】		
計 画 （P L A N）	事 業 目 標	歴史を誇りに夢と希望が語れる地域	事業予算	決算額
	事 業 目 的	地域の歴史的資産を活かし地域活動を、地域住民の意識を図りながら展開し地域財産として活用を図る	30,000	160,600
実 施 （D O）	事 業 内 容 （ 実 績 ）	藤田城址地の整備 ・年4回の草刈り（5/21 33名、6/25 61名、8/6 41名、9/17 29名） 164名 ・階段用擬木購入 160,600円（次年度施行予定）		
評 価 （C H E C K）	貢 献 度（住 民 ニーズ）	地域づくりの核となる藤田城址整備事業は地区民の一体感の醸成に効果がある。		
	効 率 性 （コスト）	費用対効果を見れば効果的でない。		
改 善 （A C T）	改 善	課 題	年4回の奉仕作業に費用がかかり継続性が難しい。また、整備後の活用方法を考えていかねばならない。	
		方 策	他事業（多面的事業）との連携を図り事業費を削減する。また、利活用については地域の声を聞き進める	
	数 値 目 標 （K P I）	区民参加率65%（参加164名/全班253名）		
次 年 度 計 画	事 業 内 容	藤田城址地の整備事業		
	事 業 費	30,000円		

担 当 部 会		総務・地域づくり部会		
事 業 名		まちづくり事業（第6次総合計画2019年～2028年） 歴史を活かした事業 【小和清水周辺整備事業】		
計 画 （ P L A N ）	事 業 目 標	歴史を誇りに夢と希望が語れる地域	事業予算	決算額
	事 業 目 的	地域の歴史的資産を活かし地域活動を、地域住民の意識を図りながら展開し地域財産として活用を図る	200,000	328,508
実 施 （ D O ）	事 業 内 容 （ 実 績 ）	小和清水周辺整備 ・遊歩道危険個所対策 ・遊歩道東屋・清水周辺等の整備 7/7 ・藤棚整備 ・剪定バリカン購入 案内看板の修繕（全地区） 和泉式部パンフレット増版		
評 価 （ C H E C K ）	貢 献 度 （住 民 ニーズ）	区民の好みも異なるが湧き出る清水と春には桜、藤そしてつつじ等の花々が咲き秋には紅葉と憩いの場になっている		
	効 率 性 （コスト）	もう少し少ない労力と安いコストで維持管理		
改 善 （ A C T ）	改 善	課 題	現在の管理範囲が広すぎて今後も継続して維持管理ができるか不安	
		方 策	小和清水周辺と遊歩道を含め管理範囲の見直し	
	数 値 目 標 （ K P I ）	現在整備管理している範囲の縮小		
次 年 度 計 画	事 業 内 容	①小和清水周辺及び遊歩道の整備作業 ②花移植と床作り		
	事 業 費	150,000円		

担 当 部 会		総務・地域づくり部会		
事 業 名		まちづくり事業（第6次総合計画2019年～2028年） 自然を活かした事業 【鉦石水周辺整備事業・禿山遊歩道整備事業】		
計 画 (P L A N)	事 業 目 標	人と自然に豊かな暮らしが感じられる地域	事業予算	決算額
	事 業 目 的	豊かな自然を誇れる活動を進め、人と自然が暮らしの中で潤う地域づくりを目指す。	110,000	104,140
実 施 (D O)	事 業 内 容 (実 績)	鉦石水周辺環境整備 ・つつじ植栽、草刈り9/18, 12/12 ・剪定作業(12/5)、水質検査(1/24) ・つつじ消毒(1/31)、立て看板修理 禿山遊歩道整備 ・環境整備(草刈り)7/12, 7/17		
評 価 (C H E C K)	貢 献 度 (住 民 ニーズ)	鉦石水については、地域内外から水汲みに来る人が多い。 禿山遊歩道については、利用者が限られ少ない。		
	効 率 性 (コスト)	鉦石水・禿山遊歩道いずれも、低コストで管理出来ている。		
改 善 (A C T)	改 善	課 題	鉦石水周辺のつつじの管理が大変である。法面が急で草刈りなどが大変である。	
			地域での管理(草刈り)が難しくなっているため、業者に一部委託も検討する必要がある。	
	数 値 目 標 (K P I)			
次 年 度 計 画	事 業 内 容	鉦石水周辺環境整備、草刈、剪定作業、水質検査、つつじ消毒68,000円 禿山遊歩道整備 草刈り42,000円		
	事 業 費	110,000円		

担 当 部 会		総務・地域づくり部会		
事 業 名		まちづくり事業（第6次総合計画2019年～2028年） 自然を活かした事業 【イチジク生産事業】		
計 画 （P L A N）	事 業 目 標	人と自然に豊かな暮らしが感じられる地域	事業予算	決算額
	事 業 目 的	豊かな自然を誇れる活動を進め、人と自然が暮らしの中で潤う地域づくりを目指す。	350,000	187,711
実 施 （D O）	事 業 内 容 （ 実 績 ）	イチジク生産事業 （売上金 269,682円、総収穫量385.2kg 内販売数 384kg） ・イチジク圃場管理（圃場使用料 50,000円） ・草刈り、害虫駆除 ・収穫、施肥、剪定など （たい肥、防虫剤等須賀川普及所より支給あり） ・イチジク新圃場整備		
評 価 （C H E C K）	貢 献 度 （住 民 ニーズ）	イチジクの栽培により休耕田の解消及び販売によりまちづくりの運営資金となっている		
	効 率 性 （コスト）	管理費や稼働費と比較し粗利が少ない		
改 善 （A C T）	改 善	課 題	イチジク栽培の管理体制の構築について考えていく必要がある	
		方 策	イチジク部会の新設または、委託も考慮していく	
	数 値 目 標 （K P I）	収穫量1トン（実際の収穫量385.2kg）39%		
次 年 度 計 画	事 業 内 容	イチジク生産事業 ・イチジク圃場管理 ・草刈り、害虫駆除		
	事 業 費	200,000円		

担 当 部 会		総務・地域づくり部会		
事 業 名		まちづくり事業（第6次総合計画2019年～2028年） 自然を活かした事業 【特産品開発事業（地場産品利用）】		
計 画 （ P L A N ）	事 業 目 標	人と自然に豊かな暮らしが感じられる地域	事業予算	決算額
	事 業 目 的	豊かな自然を誇れる活動を進め、人と自然が暮らしの中で潤う地域づくりを目指す。	100,000	200,000
実 施 （ D O ）	事 業 内 容 （ 実 績 ）	特産品開発事業（地場産品利用）家賃補填 ・特産品開発 ・安心館、ベニマル出荷 ・各種イベント参加		
評 価 （ C H E C K ）	貢 献 度 （住 民 ニーズ）	6次化製品を開発することにより地域の活性化に寄与している		
	効 率 性 （コスト）	商品化したものを販売し粗利が出る月もあり効率性は良くなっている		
改 善 （ A C T ）	改 善	課 題	次世代に繋げるため後継者育成に取り組まないといけない	
		方 策	収入を安定し後継者に魅力をアピールしていく	
	数 値 目 標 （ K P I ）	開発商品1品/年		
次 年 度 計 画	事 業 内 容	特産品開発事業（地場産品利用）		
	事 業 費	100,000円		

担 当 部 会		総務・地域づくり部会		
事 業 名		まちづくり事業（第6次総合計画2019年～2028年） 自然を活かした事業 【簡易直売所事業】		
計 画 （ P L A N ）	事 業 目 標	人と自然に豊かな暮らしが感じられる地域	事業予算	決算額
	事 業 目 的	豊かな自然を誇れる活動を進め、人と自然が暮らしの中で潤う地域づくりを目指す。	150,000	352,510
実 施 （ D O ）	事 業 内 容 （ 実 績 ）	簡易直売所事業 ・朝市・惣菜販売 ・カフェ・コモドの飲食店営業支援 ・備品購入（冷蔵庫、炊飯器）		
評 価 （ C H E C K ）	貢 献 度 （住 民 ニーズ）	朝市は地域住民、特に高齢者の食卓に寄与している		
	効 率 性 （コスト）	リーズナブルな価格で提供しているが効率性はよい		
改 善 （ A C T ）	改 善	課 題	販売場所及び販路について考査しないといけない	
		方 策	販売経路を増やし収入安定にする	
	数 値 目 標 （ K P I ）	売上高300万円（売上額2,064,910円）67%		
次 年 度 計 画	事 業 内 容	簡易直売所事業		
	事 業 費	100,000円		

担 当 部 会		総務・地域づくり部会		
事 業 名		まちづくり事業（第6次総合計画2019年～2028年） 伝統を後世に伝え地域住民の交流を図る事業 【のぎさわときめき交流祭】		
計 画 （P L A N）	事 業 目 標	ほのぼのと温もりを感じる地域	事業予算	決算額
	事 業 目 的	地域伝統を継承し、人と地域につながるの場と交流の機会を作り、故郷文化の大切さを認識しながら後継者の育成を図る。	150,000	39,545
実 施 （D O）	事 業 内 容 （ 実 績 ）	のぎさわときめき交流祭 ・野小フェスティバル・文化祭とコラボによる開催 （コロナ禍のため文化祭のみとなった） 4年振りの開催となりました。		
評 価 （C H E C K）	貢 献 度 （住 民 ニーズ）	文化祭での作品のみならず農産物、6次化商品等の販売、さらには芸能発表と盛りだくさんのイベントができ、地域の交流の場となった。		
	効 率 性 （コスト）	文化祭とのコラボによりスタッフの稼働日数が減らされ効率的と感じました。		
改 善 （A C T）	改 善	課 題	子どもたちの参加が少なく学校との調整も必要になってくる	
		方 策	ニーズの把握をし、企画力を上げていく	
	数 値 目 標 （K P I）	目標参加人数300人（158人）50%		
次 年 度 計 画	事 業 内 容	のぎさわときめき交流祭 ・野小フェスティバル・文化祭とコラボによる開催		
	事 業 費	150,000円		

担 当 部 会		総務・地域づくり部会		
事 業 名		まちづくり事業（第6次総合計画2019年～2028年） 伝統を後世に伝え地域住民の交流を図る事業 【野木沢駅活性化事業（イルミネーション）】		
計 画 （ P L A N ）	事 業 目 標	ほのぼのと温もりを感じる地域	事業予算	決算額
	事 業 目 的	地域伝統を継承し、人と地域につながるの場と交流の機会を作り、故郷文化の大切さを認識しながら後継者の育成を図る。	70,000	108,225
実 施 （ D O ）	事 業 内 容 （ 実 績 ）	野木沢駅活性化事業（イルミネーション） ・野木沢駅広場にイルミネーション設営（11月19日～令和6年1月31日） ・イルミネーション購入		
評 価 （ C H E C K ）	貢 献 度 （住 民 ニーズ）	水郡線利用者などに大変喜ばれている。また、防犯灯などにもなり地域の防犯にも寄与している。		
	効 率 性 （コスト）	水郡線の利用者維持を考えると効果はある		
改 善 （ A C T ）	改 善	課 題	設備のメンテナンスや電気代など費用がかかりすぎる。	
		方 策	電気代を中野行政区から助成して頂き、運営する	
	数 値 目 標 （ K P I ）	野木沢駅周辺防犯0件		
次 年 度 計 画	事 業 内 容	野木沢駅活性化事業（イルミネーション）機器購入		
	事 業 費	70,000円		

担 当 部 会		教育学習部会		
事 業 名		子育て支援事業 【野小っ子クラブ事業】		
計 画 (P L A N)	事 業 目 標	子どもの安全安心を確保する	事業予算	決算額
	事 業 目 的	児童の放課後居場所づくり	172,000	168,672
実 施 (D O)	事 業 内 容 (実 績)	野小っ子クラブ事業 ・登校日の月、木、金放課後実施 開催日数：101日 参加者：3,250人（登録者数：55名）約32人/日 ボランティア人数：82名		
評 価 (C H E C K)	貢 献 度 (住 民 ニーズ)	児童を地域全体で育てていく		
	効 率 性 (コスト)	ボランティア活動により効率的		
改 善 (A C T)	改 善	課 題	ボランティアの確保	
		方 策	ボランティア人材バンクの活用	
	数 値 目 標 (K P I)	参加児童割合80%		
次 年 度 計 画	事 業 内 容	野小っ子クラブ事業		
	事 業 費	80,000円		

担 当 部 会		教育学習部会		
事 業 名		学校支援事業 【学校支援事業】		
計 画 (P L A N)	事 業 目 標	子どもの安全安心を確保する	事業予算	決算額
	事 業 目 的	地域と共にある学校を目指して行く	0	0
実 施 (D O)	事 業 内 容 (実 績)	学校支援事業 学校周辺の花壇などの整備 (費用は野小っ子クラブから支出しました)		
評 価 (C H E C K)	貢 献 度 (住 民 ニーズ)	野木沢小学校と連携し環境整備など協力していく		
	効 率 性 (コスト)	ボランティア活動により効率的に行われた		
改 善 (A C T)	改 善	課 題	ボランティアの確保	
		方 策	ボランティア人材バンクの活用	
	数 値 目 標 (K P I)	伐採処理 100%完了		
次 年 度 計 画	事 業 内 容	希望ヶ丘整備		
	事 業 費	70,000円		

担 当 部 会		教育学習部会		
事 業 名		子育て支援事業 【子ども育成会事業】		
計 画 (P L A N)	事 業 目 標	子どもの健全育成	事業予算	決算額
	事 業 目 的	次世代を担う子ども達を地域全体で育てていく	75,000	79,000
実 施 (D O)	事 業 内 容 (実 績)	子ども育成会事業 ・3年生を送る会（中学生18名に図書カード贈呈） ・クリスマス会 12/21		
評 価 (C H E C K)	貢 献 度（住 民 ニーズ）	児童を地域全体で見えていく		
	効 率 性 (コ ス ト)	育成会活動		
改 善 (A C T)	改 善	課 題	3 地区育成会の連携	
		方 策	3 地区育成会の会議開催により情報を共有していく	
	数 値 目 標 (K P I)	参加児童割合80%		
次 年 度 計 画	事 業 内 容	子ども育成会事業 (中学3年生を送る会)		
	事 業 費	75,000円		

令和6年度 まちづくり委員会事業収支予算書

【収入】

(単位：円)

区分	本年度予算額	前年度決算額	増減	内 訳
事業収入		20,000		イチジク販売収入
地域自治活動交付金	1,280,000	1,280,000	0	まちづくり交付金1,200,000円 小和清水管理80,000
繰越金	53,286	380,198	△ 326,912	前年度繰越金
雑収入		269,682		
合計	1,333,286	1,949,880	△ 616,594	

【支出】

(単位：円)

事業名	区分	本年度予算額	前年度決算額	増減	内 訳
会議費	計	128,286	93,143	35,143	
	全体会（理事会、総会）	5,000	0		全体会（理事会、総会）
	各部会費	18,286	21,442		各部会年2回以上会議（上・下半期）
	U50まちづくり集会事業	100,000	71,701		U-50まちづくり委員会イベント協力費
	人材バンク登録	5,000	0		人材バンク登録事業
イチジク生産事業費	計	200,000	187,711	12,289	
	イチジク管理費	170,000	137,711		イチジク消毒剤、フレールモア一代、肥料代、草刈り作業代、燃料代他
	作業員手当（販売支援含）	0	0		
	畑借地代	30,000	50,000		イチジク畑借地料代
地区交流事業費	計	150,000	39,545	110,455	
	のぎさわときめき交流祭事業費	150,000	39,545		のぎさわときめき交流祭・文化祭とコラボによる開催
中野部会事業費	計	100,000	268,825	△ 168,825	
	藤田城址整備事業	30,000	160,600		藤田城址地の整備事業
	野木沢駅活性化事業（イルミネーション）	70,000	108,225		イルミネーション設置及び撤去作業代
曲木部会事業費	計	150,000	328,508	△ 178,508	
	小和清水周辺整備事業	70,000	248,508		小和清水整備藤棚選定
	小和清水管理	80,000	80,000		小和清水借地代及び管理費代
塩沢部会事業費	計	110,000	104,140	5,860	
	鉾石水周辺整備事業	68,000	57,140		草刈（機械代燃料代）剪定代 水質検査料 消毒代
	禿山遊歩道整備事業	42,000	47,000		草刈り機械借上げ作業委託代
情報発信事業	計	70,000	74,540	△ 4,540	
	インターネット整備費	70,000	74,540		インターネットプロバイダー料（ジャストシステム）
特産品部会事業費	計	200,000	552,510	△ 352,510	
	特産品開発	100,000	200,000		加工所賃借料
	加工所光熱水道費		0		簡易直売所事業（加工所光熱水道費）
	特産品直売所	100,000	352,510		特産品開発事業（地場産品利用）
子育て支援事業	計	225,000	247,672	△ 22,672	
	野小っ子クラブ	80,000	168,672		野小っ子クラブ事業
	育成会 3年生送る会	75,000	79,000		子ども育成会事業（中学3年生を送る会）
	学校支援事業	70,000	0		学校支援事業（希望ヶ丘整備事業）
予備費	予備費		0	0	
合計		1,333,286	1,896,594	△ 563,308	

収入金額1,333,286円 - 支出金額 1,333,286円 = 差引残額0円

令和5年度 野木沢地区まちづくり委員会

役職名		氏名	区分	役職名		氏名	区分
委員会	委員長	近内光慶		塩沢部会	部長	曲山喜巳	
	顧問	草野伝明			副部長	有賀忍	兼
		近内雅洋			事務局	尾崎幸弘	
		宗形兼徳			顧問	有賀宏治	
		佐藤衛			会員	有賀正一	
	事務局	二瓶清正				志賀正敏	
		佐藤康博				向井晃	
		二瓶伸一				斎藤浩一	
		中村健文				近内朝治	
	会計監査	二瓶義正				紀陸洋平	
		矢吹光明				鈴木宏	
		有賀忍				伊藤喜代志	
	中野部会	部長	二瓶光正				生産販売促進部会
副部長		二瓶義正	兼	副部長	紀陸洋平	兼	
事務局		近内光慶	兼	事務局	近内光慶	兼	
顧問		二瓶清正	兼	会員	近内繁治	兼	
会員		近内繁治		いちじく会	部長	矢吹重光	兼
		近内光裕			副部長	佐藤昭夫	兼
		近内一幸			会員	相楽博正	
		近内博徳		特産品部会	部長	吉田和子	
		近内雅洋	兼		副部長	二瓶元子	
		二瓶文夫			事務局	添田美恵子	
		瀬川洋幸			会員	二瓶京子	
		二瓶正市				二瓶順子	
		二瓶義徳				三瓶勝子	
		二瓶匡				佐藤ミサオ	
		荻野好章				荒井ミドリ	
		二平光信				十文字朝子	
		円谷正光				曲山ノリ子	
		二瓶市之助				曲山三枝子	
		塩澤昭浩				和気孝子	
		二平光彦				中村孝子	
吉田宗治		西 茉美					
藤田修		藤田藍					
円谷一美		二瓶恵子					
二瓶伸一	兼	岡田美紀					
二瓶光男		佐藤竜代					
円谷卓彦		小松志暢					
近内徳男							
曲木部会	部長	相楽勝美		※区分欄の「兼」については、委員会及び部会の役員等を複数兼務している方です。			
	副部長	矢吹光明	兼				
	事務局	宇佐美幸雄					
	顧問	円谷和司					
	会員	草野吉明					
		荻野正美					
		佐藤昭夫					
		矢吹重光					
		永瀬謙次					
		岩谷隆夫					
佐藤衛		兼					
溝井茂信							
宇佐美喜和							
相楽美紀							